

## 第3章 健康ちば21（第3次）の目指すもの

### 1 健康ちば21（第3次）の基本理念

#### 全ての県民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現

全ての県民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け、誰一人取り残さない健康づくりの展開と、より実効性をもつ取組の推進を通じて、県民の健康増進の総合的な推進を図るため、健康ちば21（第3次）を推進します。

### 2 基本的な方向

- 本県の平均寿命及び健康寿命は男女とも着実に延伸していることから、引き続き健康課題の改善に取り組み、全体的な底上げを図ることで健康格差（地域や社会経済状況の違いによる集団間の健康状態の差をいう。以下同じ。）を縮小していきます。
- 健康に関心が薄い層へのアプローチが必要であり、本人が無理なく自然に健康な行動が取れるような環境づくりを推進していきます。
- 個人の生活習慣では、特に「栄養・食生活」「身体活動・運動」分野の改善が必要です。このため、ライフコースアプローチや地域特性に応じた健康づくり施策を推進していきます。
- 健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業や団体が増加していることから、県全体で健康づくりの取組を連携して推進していきます。

### 3 具体的な目標

#### (1) 総合目標

##### 健康寿命の延伸と健康格差の縮小

全ての県民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のため、個人の行動と健康状態の改善に加え、個人を取り巻く社会環境の整備やその質の向上を通じて、健康寿命の延伸及び健康格差の縮小を目指します。

その際、個人の行動と健康状態の改善とそれらを促す社会環境の質の向上との関係性を念頭に取り組みます。また、個人の行動と健康状態の改善に加えて、社会環境の質の向上に向けた取組を進めることで、更なる健康寿命の延伸・健康格差の縮小を目指します。

<健康ちば21（第2次）最終評価から抜粋>

- 平均寿命は、平成22（2010）年から令和2（2020）年までの10年間に、男性で1.57年、女性で1.30年延伸し、健康寿命は、平成22

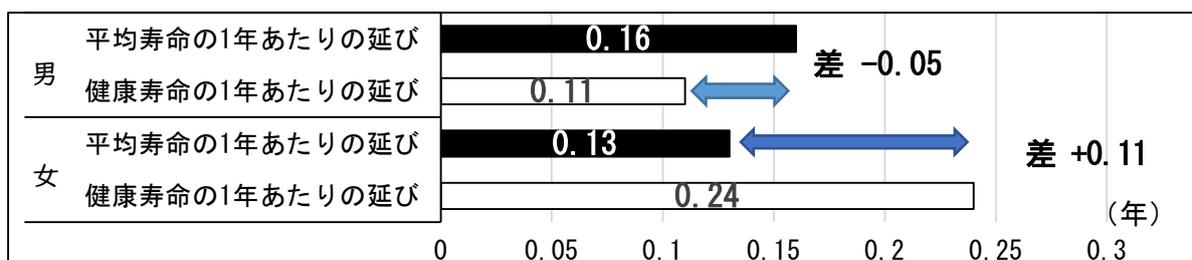
(2010)年から令和元(2019)年までの9年間に、男性で0.99年、女性で2.18年延伸しています。

- 評価指標「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」は、男性では、健康寿命は延びているものの健康寿命の延びが平均寿命の延びまでは上回っていません。一方、女性では、健康寿命の延びが平均寿命の延びを上回っています。

		策定時①	現状値②	(②-①)	期間内1年あたりの延び	目標値
男性	平均寿命	79.88年	81.45年	1.57年	0.16年	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
	健康寿命	71.62年	72.61年	0.99年	0.11年	
女性	平均寿命	86.20年	87.50年	1.30年	0.13年	
	健康寿命	73.53年	75.71年	2.18年	0.24年	

策定時：H22年 現状値：平均寿命 R2年、健康寿命 R1年

図1 平均寿命と健康寿命の1年あたりの延びの比較



- 男性では最長市町村の健康寿命の延び(1.55年)が最短市町村の延び(0.75年)を大きく上回ったため、策定時(平成22年)2.20年に対し現状値(令和元年)3.00年と差が拡大しています。一方、女性では策定時(平成22年)2.50年に対し現状値(令和元年)2.40年と若干差が縮小しています。

		策定時①	現状値②	②-①	目標値
男性	最長市町村の健康寿命	17.94年	19.49年	1.55	市町村格差の縮小
	最短市町村の健康寿命	15.74年	16.49年	0.75	
	最長と最短の差	2.20年	3.00年	0.80	
女性	最長市町村の健康寿命	21.37年	21.97年	0.60	
	最短市町村の健康寿命	18.87年	19.57年	0.70	
	最長と最短の差	2.50年	2.40年	-0.10	

策定時：H22年 現状値：R1年 (千葉県衛生研究所算出)

図2 健康寿命の市町村の差の比較 (H22年とR1年)

